

される。

そこで、それぞれの地区において、具体的にどのような政策が展開されてきたのか、明確に検証する必要がある。

例えば、地区別土地利用計画の中に「登別温泉地区は、市街地パイパスの整備や温泉文化の発信拠点としての温泉地らしい公共施設整備に必要な用地の確保に努めます」などどうたわれている。このことについては、登別温泉支所が入居する登別温泉ふれあいセンターの今後の活用策という観点からすると、大事な施策となる施設である。以上のようなことを含め、各地区の進捗状況に関する質疑の中で、担当部局として細部にわたって検証できていないところがあると感じた。

今後市民会議にて検討する資料として、現在の進捗よく状況を未検討、検討中、進行中、実施済など明確に検証し分けるべきであると提言した。「土地利用計画という観点であれば、振り分けが可能なかもしれないので、検討してみたい」という市長の答弁を得た。



長期総合計画における
検証について
山口賢治

今後市において、第3期基本計画を策定するための市民会議が組織され、いろいろな観点から論議

平成25年度補正予算可決 療養給付費負担金等「過大交付」 に関し、道の説明に苦言！

*案件名は39ページに掲載します。

石山 正志

国民健康保険の療養給付費負担金等「過大交付」の原因は、北海道が作成して指導した誤った資料が原因であり、市長会等を通じた対応が必要では。

答 近隣市町とは連携を図っているが、道内各自治体がまとまって北海道へ働きかけることが重要と考える。

渡辺 勉

私立幼稚園就園奨励費補助金の減額補正について、その理由をただした。市は67名を補助対象と見込んでいたのに対し、就園児童数の減少により58名となったことから減額したと答弁。少子化による影響がはつきりと数字として表れている。市として幼児が増えるための施策が必要と訴えた。



新年度予算 4 日間での集中審査により可決！ 一般会計、各特別会計において消費税対策で国からの予算獲得へ！

*案件名は39ページに掲載します。

沼田 一夫

総括質疑の中で、平成26年度作成予定の公共施設整備方針案の内容について質問した。

この中で市長は、市内各団体や市民との意見を聞いたうえで「後々の工事などの施策に反映できるようにあらためて協議を重ねたい」との答弁があった。

二瓶 秀幸

給食原材料費等経費では、地産地消の取り組みや食材による体質改善について提案した。障害者自立更生促進助成費では、助手席側の改造も認めるべきとたたいた。温泉供給施設維持管理経費では、経費削減案を提案した。岡志別の森運動公園休憩施設整備事業費では、早期完成の要望など、6事業の質問をした。

山田 新一

ホテル・旅館の大規模建築物の耐震診断と耐震化に向けた所有者負担について

答 耐震診断は、国・北海道・市の補助があり所有者負担は1/6となる。耐震化に向けた工事の所有者負担は今のところ88.5%であるが、所有者負担が軽減されるよう多くの財政支援策を北海道や業界団体と連携し適切に対応していきたい。

米田 登美子

登別ブランド推進事業補助費について、ブランドの取り組み団体の増加を目指して、団体育成と支援の充実を求め、PRの拡大についてたたいた。

答 団体育成については積極的に対応すること、PRは機会を捉えて適宜取り組みをしていく。

杉尾直樹

今回は新規事業を含め、民生費や教育費を中心に13項目の質問をしました。

各種の福祉や医療問題、さらには国の「子ども・子育て支援」政策実施に伴い市の職員体制の充実を要望しました。

ほかに分館設置に合わせた図書館の利活用や体育事業の促進を提言しました。

佐藤弘子

高台避難誘導看板設置場所と個所数・看板の蓄光材使用について。また観光客への対応などや町内会との連携について

高台人口や交差点など5カ所を予定。夜間の視認性を考慮、反射材使用などを検討し、土地勘のない人への表示の工夫と維持管理を含めて町内会との協議協力を得たい。

木村純一

地方自治体の財務状況と経営成績を適切かつ適時に市民や議会に開示し、自治体の経営管理において複式簿記・発生主義を導入することで、「予算・決算の改革」とともに「正確なコスト分析による事業評価」ができるとして、新公会計制度の導入を提案し、市長の見解を求めた。

村井寿行

高齢者保健福祉費・交通安全費・公園事業費・教育振興費について取り上げ、その中でも「高齢者緊急通報機器設置経費」「小・中学校の「要保護」・準要保護就学援助費」については、今後対象者増とそれに係る予算が増えることから、より充実した事業の継続を訴えた。

木村俊子

糖尿病予防と特定健診での保健指導の対象者に厚生年金病院での温泉運動療法が加わり、温泉療法専門医のカウンセリングで理学療法士が個人個人に合わせたプログラムを作成し実施され、予定人数を超える場合は補正を組むとの事なので、登別温泉の効果も期待されず。

鈴木広之

岡志別の森運動公園休憩施設整備事業について、休憩所建設工事期間や工事期間中の他施設への影響、また休憩所の団体利用者の使用基準についてでした。

今年度秋に完成予定で、安全面を留意して他施設の使用は可能とし、団体の使用基準については、指定管理者と検討する。

石山正志

平成26年度から再開する再任用制度は、退職職員の希望が少ない。事前の説明や労働条件に問題はないのか。

今回からフルタイム制を併用し、対象職種等を示したが、職員への説明時期が遅かった事、すべて担当員という点も評価が低く今後検討したい。

松山哲男

給水量減少や浄水場の老朽化などから、今後の水道事業のあり方、安全・安心なまちの視点から防犯カメラの設置、登別ブランド品の販売と高齢者の生きがいを視野にした道の駅的な構想、地方交付税の減少傾向に対応する上で国の政策等の情報収集の必要性などについてでした。

佐々木久美子

富岸放課後児童クラブは、入所希望児童が多い状態が続いています。そこで平成26年度はどのように対応するのかと市にたまたところ、「富岸放課後児童クラブについては、富岸青少年会館別室の研修室を児童クラブに使用し、増加した児童を受け入れたい」と答弁がありました。



高橋正美

町内会のまちづくりにも果たす役割は大きいですが、課題が多いことから市の役割をたまた。

市は関心の低下や加入率低下、役員の手不足等をあげ、各町内会の活動内容の広報紙での紹介や転入時の加入促進のチラシ配布など、課題解決に向けた環境づくりを努めたいと答弁があった。

渡辺勉

市有地の土壤汚染調査に係り、汚染物質混入の埋め立て地の実態把握に必要な資料記録は存在するのかとの質問に対し、記録は存在しないので、広く市民から情報を寄せていただこうにしたいとの答弁であった。

汚染調査終了後に、市民の不安にこたえられるような報告をすべきと要望した。

山口賢治

「国の交付税削減」や「職員配置」など大きく3点、合計10項目にわたり総括質疑をした。

特に、職員配置については「常にできる限りの削減を考へる」との市長答弁に対し、事務処理に支障を来しているのではないかとこの観点より、職員や教員の資質向上に取り組みよう提言した。

石山正志

公共工事設計労務単価の引き上げによる、労働者賃金の水準確保や周知は？

引き上げ率は、平成24年度比で26.3%となった。昨年実施した事業者へのアンケート調査では、7割近くが賃金を引き上げると回答した。今回も単価引き上げが適切に反映されるよう要請したい。

平成26年度補正予算

*公共工事設計労務単価とは：公共工事における予定価格の積算用単価。毎年10月に国や都道府県が発注する公共工事について賃金の支払の実態を調査し、年1回年度当初に設定している。

議員定数はこれで良いのか!!

議会フォーラムに引き続き 「議員定数等について」市民意見交換会を開催

市民との意見交換会

議員定数・議員報酬に係る意見交換会を1月29日に開催しました。この意見交換会は、昨年10月に開催した議会フォーラムにおける基調講演の内容、市民の意見などをふまえた度重なる議会運営委員会での協議を通して、議会運営委員会正副委員長案を提示するも、会派間の合意と至らなかつたことから、「これまでの協議の経緯と各会派の考え」を明示し、再度市民の声を聞く目的で討論会と市民との意見交換の2部構成で行いました。

意見交換会では議会から「議員・議会活動」や「見える化」「議員定数・報酬」などの事項について意見を述べましたが、「議会は身近ではなく興味を持ってない」「市民も関心を持つことが必要」「定数ではなく議員の資質が問題」「読みやすい広報紙への工夫を」「市民の中へ行き情報収集を」「将来を見据えた定数を」など、様々な市民意見がありました。

総じて、資質の高い議員・議会活動やその「見える化」への取り組み、市民との協働のあり方などを指摘されたと言えます。

また定数と報酬についても様々な意見があり、議会の責任ある判断が求められたと言える意見交換会でした。



▲議会運営委員長から議長への答申の様子



▲市民との意見交換会の様子

「議長裁決」で2減の19名に!!

議会運営委員会は、前任の委員会で平成23年6月から調査・検討していた議員定数と報酬について、平成25年6月に議長からの諮問を受け、議会フォーラムなどにおける市民意見などを踏まえながら、これまで17回の協議を進めてきました。

しかし、定数を削減する意見が大勢を占めるも、削減数で各会派間の合意に至らず、協議経過と結果をまとめ、議長に答申しました。その内容は、

- ①「議員定数に係る各会派の考え」では、別表のとおり
- ②「議員報酬」では、市民意見を重く受け止め、報酬増額の見送り
- ③「その他」では、市民意見にあった「議員の資質向上」に向けた取り組みなどの検討を進めるとしたものです。

その後の第1回定例会最終日に、会派「市民・前進」と「清新」に所属する9議員から、2名の定数削減とする条例改正案の提出があり、反対と賛成の討論後、1議員が病欠のため18議員による無記名投票を行いました。可否同数で議長裁決となりました。裁決では「削減する意見が大勢を占めた協議経過」「協議に多くの時間を費やしている」「議案を提出した2会派による現状打破への大いなる政治判断」などの判断によって「可」となり、定数19名と決まりました。なお19名の定数は、来春の統一地方選挙からの適用となります。

定数等の協議が終わり、今後は市民の意見などを念頭に置き、委員会活動計画の「議会からの政策提案の充実」「委員会活動・議員活動の評価等」などの具現化に向け協議を進めます。

○議員定数に係る各会派の考えについて（別表）

各会派の考え	市民・前進	19人
	市政クラブ21	20人
	公明党	20人
	日本共産党	現行どおり
	清新	18人

*登別市議会ホームページにもくわしい情報が掲載されています。

主な議会活動状況 (平成26年1月～3月)

日	曜日	行 事
1月		
10	金	第1回会派会長会議、議会だより編集委員会
17	金	議会運営委員会
22	水	生活・福祉委員会 (施設視察・議会サポーターとの意見交換)
24	金	議会運営委員会
29	水	平成26年第1回登別市議会臨時会 議員定数・報酬に係る市民との意見交換会
30	木	市政クラブ21会派視察 (31日まで)
2月		
3	月	総務・教育委員会行政視察 (4日まで)
4	火	観光・経済委員会
5	水	生活・福祉委員会
6	木	総務・教育委員会
7	金	平成26年第1回定例会議案説明、正副委員長会議
9	日	清新会派視察
12	水	議会運営委員会
17	月	議会運営委員会
18	火	平成26年第1回定例会本会議「諸報告、全議案一括上程、行政執行方針」
19	水	平成26年第1回定例会本会議「全議案説明、大綱質疑、委員会付託又は省略、予算審査、補正予算審査、各委員会」
24	月	議会運営委員会
25	火	市連合町内会役員との懇親会
26	水	議会だより編集委員会
27	木	予算・決算委員会 (補正予算審査)
3月		
3	月	本会議「諸報告、一般質問」
4	火	本会議「一般質問」
5	水	本会議「一般質問」
6	木	本会議「一般質問」
7	金	本会議「一般質問」、議会運営委員会
10	月	生活・福祉委員会、総務・教育委員会
11	火	予算・決算委員会 (予算審査)
12	水	予算・決算委員会 (予算審査)
13	木	予算・決算委員会 (予算審査)
14	金	予算・決算委員会 (予算審査)、新年度補正予算審査、議会運営委員会
17	月	議会運営委員会
18	火	平成26年第1回定例会本会議最終日「各委員会結果報告、残余議案」、議会だより編集委員会
24	月	総務・教育委員会 (議会サポーターとの意見交換)
26	水	公明党会派視察 (28日まで)

※議会・常任委員会活動、会派視察等を掲載しています。

平成26年第1回定例会案件

(報告)

- 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団に関する平成26年度の事業計画及び予算の報告について
- 平成25年度定期監査 (後期) 及び財政的援助団体等監査の結果に関する報告について
- 予算・決算委員会の審査結果について
- 総務・教育委員会の審査結果について
- 生活・福祉委員会の審査結果について
- 報月出納検査の結果に関する報告について

(議案)

- 消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について
- 子ども・子育て会議条例の制定について
- 手数料条例の一部改正について
- 青少年会館設置条例の一部改正について
- 社会教育委員に関する条例の一部改正について
- 市立図書館条例の一部改正について
- 地域情報センター条例の廃止について
- 権利の放棄について
- 市議会議員の派遣について
- 市議会議員定数条例の一部改正について

平成25年度補正予算

- 一般会計補正予算 (第6号) について
- 国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) について
- 公共下水道事業特別会計補正予算 (第3号) について
- 簡易水道事業特別会計補正予算 (第2号) について
- 介護保険特別会計補正予算 (第2号) について
- 後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号) について
- 一般会計補正予算 (第7号) について

平成26年度予算

- 一般会計予算について
- 国民健康保険特別会計予算について
- 学校給食事業特別会計予算について
- 簡易水道事業特別会計予算について
- 介護保険特別会計予算について
- カルルス温泉スキー場事業特別会計予算について
- 後期高齢者医療特別会計予算について
- 水道事業会計予算について
- 下水道事業会計予算について

平成26年度補正予算

- 一般会計補正予算 (第1号) について
- 簡易水道事業特別会計補正予算 (第1号) について
- 水道事業会計補正予算 (第1号) について
- 下水道事業会計補正予算 (第1号) について

(意見書案)

- 地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書について
- 労働者保護ルールの慎重な改正を求める意見書について
- 食の安全・安心の確立を求める意見書について

編集後記

今までの議会フォーラムや市民との意見交換会などで「議会、議員の活動や考えが見えない」などの意見にこたえるべく、**でいすかす**の紙面をリニューアルしました。またより多くの情報を発信している、市議会ホームページや議事録も見て頂けたら幸いです。(N・H)

議案の賛否状況 (挙手採決議案のみ掲載)

議案	賛成議員	反対議員	結果
平成26年度登別市一般会計予算について	石山、木村(俊) 木村(純)、工藤	佐々木 渡辺	可決
平成26年度登別市国民健康保険特別会計予算について	佐藤、杉尾 鈴木、高橋		可決
平成26年度登別市学校給食事業特別会計予算について	成田、二瓶 沼田、松山		可決
登別市青少年会館設置条例の一部改正について	村井、山口 山田、米田		可決

次回の第2回定例会は6月13日からの予定です。